

安全で優しい木製子ども用

前回、幼児用自転車の記事を書かせていただきまして、その後、思いのほか各方面より反響をいただきましたので今回も引き続き、「幼児と自転車の関係」について書かせていただこうと思います。

ヨーロッパの文化では児童用自転車や補助輪付き自



かながわ自転車生活

日 鈴木 潤

いを慕らせておりました。今から2年ほど前、ある友人と都内に舞台を見に行つたときのこと。

その友人はデザイナーとして秋田県にて木材を使つた製品作りに着手しており、そんな彼に、ヨーロッ

パでの体験談や木製自転車なる製品の話をしたところ、彼はその話にすごく興味を持ち始めてくれて数ヶ月後には、「日本にも日本製の木製二輪玩具を作り、文化を広めて行きたい!」

ホイルに足を巻き込む心配も、ハンドル部分に指を挟む心配もない。ヨーロッパで作られている製品と比べれば比べるほど、彼が製作した製品クオリティの高さは絶妙で、その「曲げ木」で作られた立体的なフ

リーム構成が、子供の玩具とは思えないほどの完成度がありました。

そんな中、以前に補助輪付き自転車を与えていたものの、案の定ペダルが回せず、ブレーキが握れず、結果自転車嫌いになつて挫折していた2歳になるわが息子にその試作品第1号のモニターとして乗せてみることにしました。

するとどうだろ? う! 息

その後、自転車屋として、また親として、より安全性

のヨーロッパ式文化を取り入れたい」と数年前より思

ドバイスを伝え、ついに今年の春、試作品第1号が完成したのです。その製品は、日本の、いや秋田の伝統工芸でもある「曲げ木」をすべてのパーツに施し、とがった部分は一切なく、安全性に優れ、優しいイメージ

に仕上がっており実際に見た目が美しい。

ホイルに足を巻き込む心配も、ハンドル部分に指を挟む心配もない。ヨーロッパで作られている製品と比べれば比べるほど、彼が製作した製品クオリティの高さは絶妙で、その「曲げ木」で作られた立体的なフ

リーム構成が、子供の玩具とは思えないほどの完成度がありました。

そんな中、以前に補助輪付き自転車を与えていたものの、案の定ペダルが回せず、ブレーキが握れず、結果自転車嫌いになつて挫折していた2歳になるわが息子にその試作品第1号のモニターとして乗せてみることにしました。

するとどうだろ? う! 息

木製自転車では楽しそうに遊ぶ(左)、日本生まれの木製二輪自転車(ワーカーズギルドジャパン社製・TYPE01)(上)

補助輪付き自転車に挫折した息子だが木製自転車では楽しそうに遊ぶ(左)、日本生まれの木製二輪自転車(ワーカーズギルドジャパン社製・TYPE01)(上)

すずき・じゅん◎1931年創業の老舗「グリーンサイクルステーション」の3代目代表。「街乗り」に適した自転車「ミニベロ(小径)&折りたたみ自転車」を早くから横浜・山下町にて展開している、いわばミニベロ界の日本の先駆的存在。自転車のある生活「自転車生活」を提唱。